

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

**「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型」に
「インドネシアルピアコース」と「インドルピーコース」を追加**

～ 2コース追加で計10の通貨から選択可能に、4月16日より8証券会社にて販売 ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、追加型投信「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型」に、「インドネシアルピアコース」と「インドルピーコース」の2コースを新たに追加します。追加2コースは、エイチ・エス証券株式会社、エース証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、高木証券株式会社、内藤証券株式会社、マネックス証券株式会社、丸八証券株式会社、および水戸証券株式会社が4月16日から取り扱いを開始します。

「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド」は、米ドル建ての新興国ソブリン債を中心に、幅広く分散投資を行なうファンドです*1。これまで、2003年9月以来段階を追って設定した「毎月分配型」の8の通貨コース(米ドル、円ヘッジ、ブラジルレアル、南アフリカランド、トルコリラ、メキシコペソ、対米ドル・ブラジルレアル、対米ドル・アジア通貨バスケット*2)と、年1回決算を行なう「資産成長型」の米ドルコースがあり、各コース間でスイッチングが可能です*3。

- *1 組入債券は、米ドル以外の通貨建て債券を含む場合があります。
- *2 「対米ドル・アジア通貨バスケットコース」は、中国元、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォンに、均等に配分することを原則とします。
- *3 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合や全部または一部のファンド間でスイッチングが行えない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

投資対象となる主な新興国



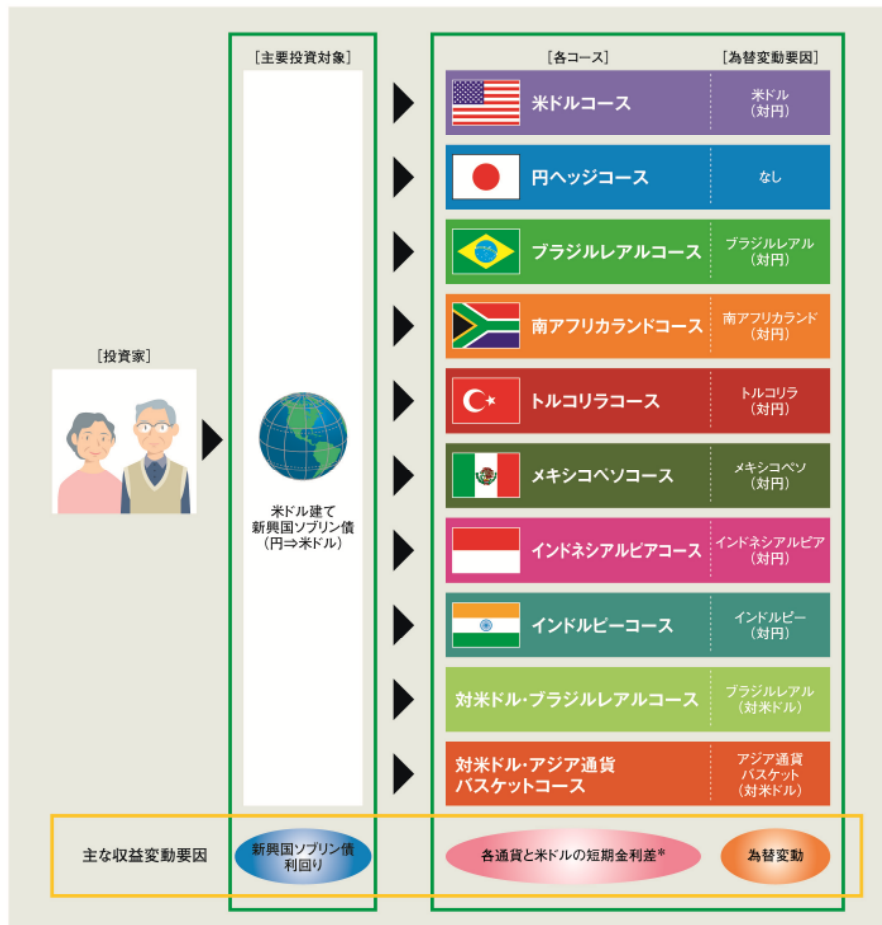
※ 上記の国と実際の投資対象国は異なる場合があります。

現在運用中の「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド」の「毎月分配型」8コース、「資産成長型」1コース、計9つのコースは、純資産総額の合計が約3,750億円に達する大型ファンドに成長しています(2015年3月30日現在)。今回の「インドネシアルピアコース」と「インドルピーコース」の2コースの追加により、「毎月分配型」では計10の通貨をお選びいただけるようになり、将来の為替変動に備えて選択肢を充実させたいという投資ニーズにより一層お応えできるものと考えています。

■10の通貨コースについて■

- 「ブラジルリアルコース」「南アフリカランドコース」「トルコリラコース」「メキシコペソコース」「インドネシアルピアコース」「インドルピーコース」では、米ドル売り^注／各新興国通貨買いの為替取引を行いません。これにより、各コースは米ドル／円の変動に代えて、各新興国通貨／円の変動の影響を受けることになります。
- 「対米ドル・ブラジルリアルコース」「対米ドル・アジア通貨バスケットコース」では、原資産に米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行なったうえで、米ドル売り／各新興国通貨買いの為替取引を行いません。これにより、各コースは米ドル／円の変動に代えて、各新興国通貨／米ドルの変動の影響を受けることになります。

注：当ファンドの実質的な投資対象(原資産)が米ドル建て資産のため。



* 対米ドル・ブラジルリアルコースと対米ドル・アジア通貨バスケットコースは米ドルと円の金利差の影響も受けます。
 ※上記はイメージ図であり、実際と異なる場合があります。
 ※為替ヘッジは、為替変動の影響を完全に排除できるわけではありません。
 ※為替取引を完全に行なうことができるとは限りませんので、各コースの通貨と完全に連動するわけではありません。

日興アセットは今後も、投資環境の変化を迅速に捉えた質の高い商品の開発と優れた運用パフォーマンスのご提供に努めてまいります。

以上

■お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	【毎月分配型(米ドルコース)】 無期限(2003年9月30日設定) 【毎月分配型(円ヘッジコース)】 2024年1月15日まで(2006年3月7日設定) 【毎月分配型(ブラジルリアルコース)】【毎月分配型(南アフリカランドコース)】【毎月分配型(トルコリラコース)】 2024年1月15日まで(2009年7月10日設定) 【毎月分配型(メキシコペソコース)】 2024年1月15日まで(2013年1月16日設定) 【毎月分配型(インドネシアルピアコース)】【毎月分配型(インドルピーコース)】 2024年1月15日まで(2015年4月16日設定) 【毎月分配型(対米ドル・ブラジルリアルコース)】【毎月分配型(対米ドル・アジア通貨バスケットコース)】 2019年1月15日まで(2011年10月31日設定) 【資産成長型(米ドルコース)】 2024年1月15日まで(2008年11月12日設定)
決算日	【毎月分配型】の各コース 毎月15日(休業日の場合は翌営業日) 【資産成長型(米ドルコース)】 毎年1月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	【毎月分配型(米ドルコース)】【毎月分配型(円ヘッジコース)】【毎月分配型(ブラジルリアルコース)】【毎月分配型(南アフリカランドコース)】【毎月分配型(トルコリラコース)】【毎月分配型(対米ドル・ブラジルリアルコース)】【毎月分配型(対米ドル・アジア通貨バスケットコース)】毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。 【毎月分配型(メキシコペソコース)】【資産成長型(米ドルコース)】毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 【毎月分配型(インドネシアルピアコース)】【毎月分配型(インドルピーコース)】2015年6月以降の毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
ご換金不可日	換金請求日が下記のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)を行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 1. ニューヨーク証券取引所の休業日 2. 換金請求日から換金代金の支払開始日までの間(換金請求日および換金代金の支払開始日を除きます。)の全ての日がニューヨーク証券取引所の休業日に当たる場合
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して営業日目からお支払いいたします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料： 購入時手数料率（スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。）は、3.24%（税抜 3.0%）を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
 <<ご参考>>
 （金額指定で購入する場合）
 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額（お支払いいただく金額）となるよう購入口数を計算します。例えば、100 万円の金額指定で購入する場合、指定金額の 100 万円の中から購入時手数料（税込）をいただきますので、100 万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。
 （口数指定で購入する場合）
 例えば、基準価額 10,000 円のときに、購入時手数料率 3.24%（税込）で、100 万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。
 購入金額 = (10,000 円 / 1 万口) × 100 万口 = 100 万円、購入時手数料 = 購入金額 (100 万円) × 3.24%（税込）= 32,400 円となり、
 購入金額に購入時手数料を加えた合計額 103 万 2,400 円をお支払いいただくこととなります。
 - 換金手数料： ありません。
 - 信託財産留保額： ありません。
- ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行えない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬： 純資産総額に対して年率 1.728%（税抜 1.60%）を乗じて得た額
 - その他費用： 【毎月分配型（米ドルコース）】【毎月分配型（円ヘッジコース）】
組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など
 ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
 【毎月分配型（ブラジルリアルコース）】【毎月分配型（南アフリカランドコース）】
 【毎月分配型（トルコリラコース）】【資産成長型（米ドルコース）】
 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
 【毎月分配型（メキシコペソコース）】【毎月分配型（インドネシアルピアコース）】
 【毎月分配型（インドルピーコース）】【毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）】【毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）】
 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。
- ※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。
 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

- 委託会社： 日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社： ピムコジャパンリミテッド
受託会社： 野村信託銀行株式会社
販売会社： 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>
〔コールセンター〕 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■リスク情報

投資者のみなさまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)のみなさまに帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリーリスク】

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

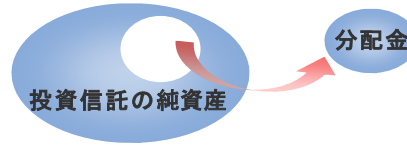
■その他の留意事項

- 当資料は、投資者のみなさまに「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)(円ヘッジコース)(ブラジルリアルコース)(南アフリカランドコース)(トルコリラコース)(メキシコペソコース)(インドネシアルピアコース)(インドルピーコース)(対米ドル・ブラジルリアルコース)(対米ドル・アジア通貨バスケットコース)／資産成長型(米ドルコース)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者のみなさまに帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

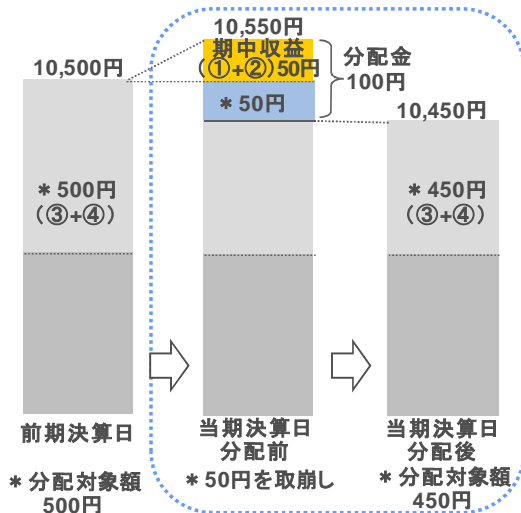
投資信託で分配金が支払われるイメージ



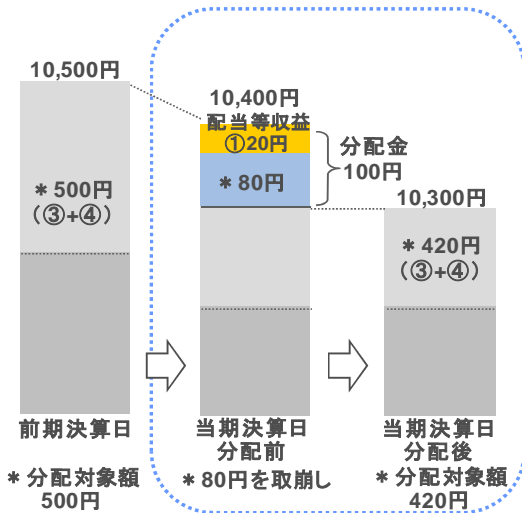
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



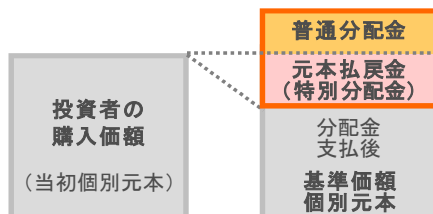
前期決算から基準価額が下落した場合



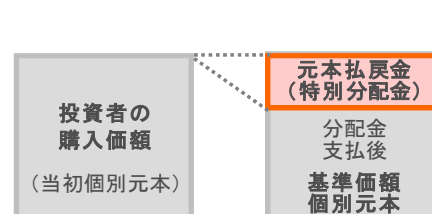
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合

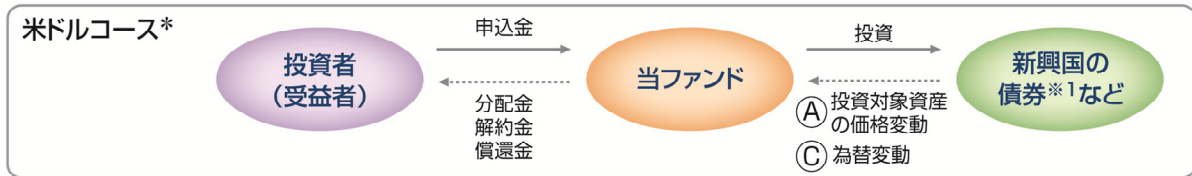


※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

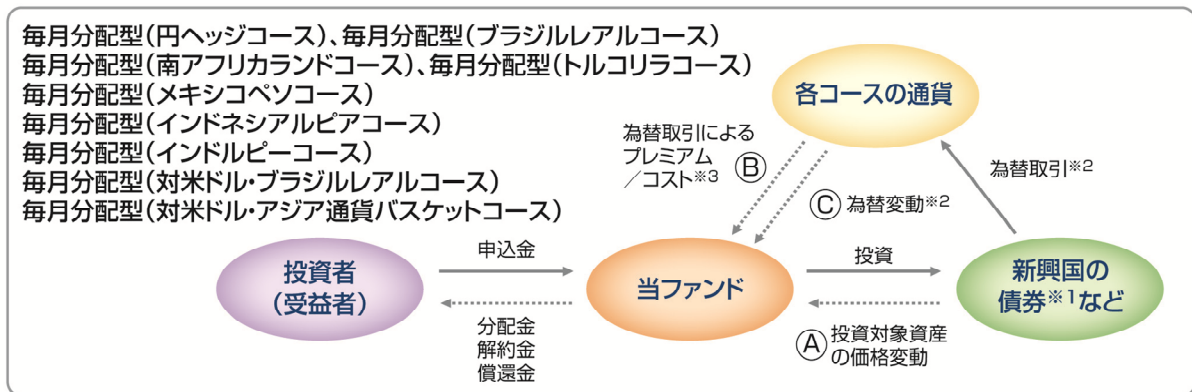
普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。



* 毎月分配型(米ドルコース)および資産成長型(米ドルコース)



- ※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて米ドル建ての新興国の債券に投資を行ないます。
- ※2 円ヘッジコースは、原則として米ドル売り/円買いの為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。各コースの通貨が円以外の場合には、各コースの通貨と円(ただし、対米ドルの2コースについては、各コースの通貨と米ドル)の為替変動リスクがあります。
- ※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

* 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在します。詳しくは「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		(A) 債券の値上がり/値下がり	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	(C) 為替差益/差損
米ドルコース*	収益を得られるケース	債券価格の上昇	為替ヘッジを行なわないのでありません。	為替差益の発生 原資産通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース	債券価格の下落		為替差損の発生 原資産通貨に対して 円高
収益の源泉		(A) 債券の値上がり/値下がり	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	(C) 為替差益/差損
毎月分配型(円ヘッジコース)	収益を得られるケース	債券価格の上昇	ヘッジプレミアムの発生 円の金利 - 原資産通貨の金利が プラス	原則として 為替ヘッジを行ない、 為替変動リスクの 低減を図ります。
	損失やコストが発生するケース	債券価格の下落	ヘッジコストの発生 円の金利 - 原資産通貨の金利が マイナス	

* 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

収益の源泉	=	(A) 債券の値上がり/値下がり	+	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
毎月分配型 (ブラジルレアルコース) 毎月分配型 (南アフリカランドコース) 毎月分配型 (トルコリラコース) 毎月分配型 (メキシコペソコース) 毎月分配型 (インドネシアルピアコース) 毎月分配型 (インドルピーコース)		収益を得られるケース 債券価格の上昇		プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの 通貨の金利 - 原資産通貨の金利 が プラス		為替差益の発生 各コースの通貨に対して 円安
		損失やコストが発生するケース 債券価格の下落		コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの 通貨の金利 - 原資産通貨の金利 が マイナス		為替差損の発生 各コースの通貨に対して 円高
収益の源泉	=	(A) 債券の値上がり/値下がり	+	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
毎月分配型 (対米ドル・ブラジルレアルコース) 毎月分配型 (対米ドル・アジア通貨バスケットコース)		収益を得られるケース 債券価格の上昇		プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの 通貨の金利 - 米ドルの金利 円金利 - 原資産通貨の金利 が プラス		為替差益の発生 各コースの通貨に対して 米ドル安
		損失やコストが発生するケース 債券価格の下落		コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの 通貨の金利 - 米ドルの金利 円金利 - 原資産通貨の金利 が マイナス		為替差損の発生 各コースの通貨に対して 米ドル高

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表するグローバルな運用会社であり、世界の投資家の皆様に一流の投資ソリューションを提供しています。世界 30 以上の国から集まる豊富な人材を世界 12 カ国に擁し、290 名超の運用プロフェッショナルが 18 兆円*余りの資産を運用しています。55 年の実践を経た投資哲学をアジアから世界へ広げていきます。

(上記データはすべて 2014 年 12 月末現在)

* 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2014 年 12 月末現在のデータ

** 日興アセットマネジメント株式会社、連結子会社および持分法適用関連会社の役社員を含む。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会